



Text Of Peace

コンセプト

世界では、今日に至るまで過去に数多くの戦争が起こってきました。今現在でも争いが続いている地域があり、それによりあらゆる命や生きる場所がどんどん奪われていく現状があります。その地域とは逆に、戦争の無い国もあります。戦争が無い、ということに悪いということはありませんが、果たして戦争が無いからといって、「自分達には関係ないから」と無関心でいいのでしょうか。

戦争の無い国にある問題の中から私達は、国と国の間にかかる過去に対する認識や考え方のちがいで生まれる亀裂、戦争を知らない世代が増えていくことにより、戦争の記憶が失われていくことに目を向け、その2つの問題について考えました。

国と国の戦争観のちがいでできる溝：戦争を知らない人の増加による記憶の風化

どうしてちがいが生まれるか

- 勝、たか負けたかの結果が、事実
にそれぞれの解釈を加えたため。
- 自国の利害関係のため、事実を
隠したり、おい曲したりして伝える。
- や、た方の正当化しようとする思いと、
やられた方の被害を訴える思い。
...など

ちがいが生まれる原因全てが無くなればその溝も無くなるだろうが、世界中の考え方を全て統一するのは無理。ならそのちがいを無くすのではなく、逆に利用できないか。

国と国の戦争観のちがいを逆に利用できて、戦争の記憶を形あるものとして確実に伝えることができるので、ほとんどの人が子供の頃から身近にあるもの。そこで私達は教科書を提案します。

戦争を知らない人が増えても、戦争を実際体験した人は減る。

過去にあつた戦争の記憶を、形ある物として戦争を知らない世代に子供の頃から伝えられる物は？

教科書を使ってはどうか



これが「Text Of Peace (T.O.P)」だ

《例》韓国と日本の場合③三・一運動

説明
 国と国の戦争に
 対する考え方のちが
 いをはっきり見比べ
 するための本です。つ
 の戦争に対して、い
 る人な国の角度か
 ら見るために、世界の
 歴史教科書の戦争
 に関する記述をも
 せています。



こんな
 ことが!..



└ 越田 稜・著
 「アジアの教科書に書かれた日本の戦争」より

└ 清水書院
 「新世界史 A」より

○学校で使、てはし
 いので対象は義務
 教育内の小学1年
 生から中学3年生
 まで。(それに、なて
 ゃOK。)

○比べやすいように、
 見開きで「右と左に
 国別で分かれています。



平和



平和



平和

私達が最初に作りたかった物は、あくまで過去の戦争の事実を正しく伝えるという目的がありました。しかし認識のちがいはあっても、それぞれの国にとっては正しい事実なのでどの国の正しいか、国と国の事実をもとめることは不可能だと判断しました。それでちがいを比べる教科書「T.O.P.」を考えました。

この「T.O.P.」の利点は、まさに比べるということにあります。いろんな国の視点で描かれていて、戦争で起こった出来事ひとつ取っても、2ヶ国以上の教科書の記述があります。それによって戦争の描かれ方にあるちがいも、また人それぞれの目で比べることができます。自分の使っている教科書との内容のギャップにとまどって、怒りや嘆息感が生まれるかもしれませんが、しかしそれを伴ってでも、平和のための他の国の目から見る戦争を知る必要があると思います。私達の提案する「T.O.P.」はそれを知ったためのもので、目的は平和にあります。戦争が終って平和が訪れても、後にその記憶も伝えなかつたら、いつかまた同じように戦争をくり返してしまうかもしれません。そのために、戦争のことや他の国の戦争の歴史を学んで、1人1人が独自の平和への想いを持つことが大切なのです。誰もが平和を思い浮かべて、それを望めば、戦争の無い未来へ少しでも近づけることができるのではないのでしょうか。

平和



平和

平和



平和